

平成 24 年度の事業報告書

NPO法人 横須賀三浦水上安全法普及会

1 事業期間

平成 24 年 4 月 11 日から平成 25 年 3 月 31 日まで

※ 設立当初の事業年度における事業報告のため、法人設立の日(平成 24 年 4 月 11 日)から記載。

2 事業成果

横須賀三浦地域における水上安全法普及の 50 年目にあたることから、本地域における普及啓発事業の一層の充実と、地域における課題解決に繋げるための調査研究を行った。

3 事業内容

特定非営利活動に係る事業

① 水の事故予防と安全を図る方法に関する普及啓発事業	
ア 水の事故の予防と対処に関する普及啓発(一般市民対象)	
内容	水に関わる事故から人命を守るための知識と技術を普及することを目的とし、事故の予防法、自分自身の身を守る方法、事故者の救助方法、安全管理、救助・救急隊への連携、プールや海などの環境にあわせた対処法、救命と応急の手当の方法、着衣のまま落水した際の対処、地震・津波災害時への備えと避難方法などについて、講義と実習形式で実施するもの。
日時	平成 24 年 7 月 8 日、14 日、15 日、29 日、8 月 3 日、4 日、5 日 9 時 00 分～17 時 30 分
場所	横須賀市及び三浦市
従事者	17 名
受益対象者	一般市民及び地域住民 50 名
イ 水の事故の予防と対処に関する普及啓発(団体及び教育機関等対象)	
内容	水に関わる事故から人命を守るための知識と技術を普及することを目的とし、事故の予防法、自分自身の身を守る方法、救助のための泳ぎ方、事故者の救助法、安全管理、救命の手当、活動中に起こるケガと急病の予防と手当、津波災害時の対処と避難方法などについて、講義と実習形式で実施するもの。
日時	平成 24 年 8 月 2 日、10 月 6 日、8 日、13 日、21 日、27 日 9 時 00 分～17 時 30 分
場所	横須賀市
従事者	15 名
受益対象者	団体職員及び教育機関学生教職員 65 名
ウ 事故やケガの予防から応急手当及び救命の手当に関する普及啓発	
内容	病気やケガ、災害からケガ人や急病人を救助し、救命と応急の手当を行うための知識と技術を普及することを目的とし、事故の予防法、ケガの手当・包帯の使用法・骨折等の手当、急病への対処、事故者の搬送法、災害への備えと対処、心肺蘇生、AED による除細動、気道内異物除去の方法、水の事故の予防と津波災害に関する情報周知と避難方法などについて、講義と実習形式で実施するもの。

日時	平成 25 年 2 月 2 日、9 日、11 日、16 日 9 時 00 分～17 時 30 分
場所	三浦市
従事者	12 名
受益対象者	一般市民及び地域住民 20 名
② 水の事故予防と安全を図る方法に関する調査研究事業	
ア 津波災害に関する調査研究	
内容	震災対策技術展で実施されたシンポジウム「巨大津波からどのように身を守りますか(防災科学技術研究所主催)」への参加。内容は、巨大地震の先端シミュレーション、地域の防災力をいかに高めるか(静岡県取り組みから)、津波情報の改善、津波観測網の整備状況報告について等。ここで知り得た最新の情報を、今後の普及啓発活動に取り入れていくためのもの。
日時	平成 25 年 2 月 7 日 9 時 00 分～17 時 00 分
場所	横浜市中区
従事者	2 名
受益対象者	本会会員及び関係者、地域住民
イ 災害時における着衣状態での落水時の対処に関する調査研究	
内容	着衣泳指導者養成研修への参加。内容は、着衣状態で水難事故に遭遇したときの自己保全の考え方、事故における救命の連鎖の重要性等について講義及び実習にて習得し、検定を受ける。この習得した知識と技術を、今後の普及啓発活動に活かすためのもの。
日時	平成 25 年 2 月 3 日 9 時 00 分～18 時 00 分
場所	東京都世田谷区
従事者	2 名
受益対象者	本会会員及び関係者、地域住民